

## 滋賀県への提案

次の第8波が来るまでに確認すべきこと、この冬までに準備すべきことがあります。

- 1 PCR検査の陽性者、コロナ抗原検査の陽性者は、全てコロナウイルス感染者ではありません。ですから全数発表は意味ありません。
- 2 発表されるコロナ死亡者数はすべてコロナウイルスによる死亡者数ではありません。数か月後に統計を取り直した後のコロナウイルスによる死亡者数は、驚くほど減ると思います。
- 3 ゼロコロナ対策ではなく、ウィズコロナ対応が現実合っている。
- 4 感染対応の現場にいる人たち、現場に近い者達ほど2類ではなく、5類感染症扱いで対応すべきであると考えている。しかしこれは政府が決めることだから、公式の場では発言を控えておこう。緊急事態宣言などは、もう出されることはないだろう。
- 5 今のコロナウイルスの感染力は分かってきた。今後はどうなるか不安である。内服治療薬は出ているが、季節型のインフルエンザの内服治療薬ほどの信頼性は未だない。コロナ内服治療薬は、実費全額では約10万円であり、インフルエンザ治療の内服薬、保険適用の値段ぐらいにしてほしい。
- 6 政府は2類に置いたままで経済を回すという。外国人の入国制限も解除し、国内の旅行の支援も行う。右向いて言ってることと、やってること、左向いて言っていると、やってることが違う。国に覚悟と責任がないと言わざるを得ない。
- 7 10月14日発表の滋賀プランについて。第8波の流行の前に、今がチャンスです。2類から5類に変える権限は確かに国にありますが、現場を担うのは市町です。県行政はワクチン接種の話だけですか。国が明日から5類扱いだと言っても出来ません。お尋ねします。行政がこの段階で準備すべきことは何ですか、提示してください。

行政機関の準備、教育現場の準備、保育現場の準備、コロナ病棟のある病院、コロナ病棟のない病院、発熱外来をやっていた診療所、やっていなかった診療所、介護施設、高齢者施設、障害者施設、消防救急などのエッセンシャルワーカーの部門など、ハード面ソフト面の準備を指示してください。